



**μ C3/Standard 評価版ガイド**  
**Renesas RZ/G1E EWARm**

## 1. はじめに

このたびは、μ C3/Standard 評価版をお試しいただき、ありがとうございます。本書では評価版パッケージのインストール手順、パッケージの概要について説明しています。

なお、μ C3/Standard (RTOS) の詳細については、評価版のインストール後、Document フォルダにインストールされるユーザーズガイドを参考にして下さい。

### 制限事項

本評価版は次の評価ボード上での試用を対象としています。

- ・株式会社アルファプロジェクト製 『RZ/G1E-PF 搭載 CPU ボード AP-RZG-0A』

添付しているプログラムを製品評価以外の目的で使用することはできません。本評価版は製品版とは異なり、RTOS のソースコードが含まれないほか、下記の機能制限がなされています。

- RTOS の ID 数の制限

- ・タスクの個数：12（製品版では 255）
- ・その他のオブジェクト個数：8（製品版では 999）

※. 参考情報：IDの詳細については、μ C3/Standardユーザーズガイド「3.3.1 オブジェクトのID番号上限のコンフィグレーション情報」を参照してください。

- 制限事項(TCP/IP プロトコルスタック)

- ソケット最大数は8つ
- マルチキャストは使用不可
- IP reassemblyは使用不可
- ネットワークのMTUサイズ、ネットワークバッファ数、変更不可
- ETHERNETのコンフィグレーション不可
- MACアドレスは変更不可

(hex表示：12-34-56-78-0B-52)固定値、Ethernet 評価用

本評価版を使用するにはIARシステムズ社のコンパイラとデバッガが別途必要です。

開発環境の Embedded Workbench (EWARM) ※1 は RZ/G1E 用のパッチを当てる必要があります。パッチを当てない場合、EWARM のメニューの **Project >Options...** の設定ダイアログで、図 1 のようにデバイスに RZ/G1E を指定することができません。

※1. V8.32.3 以降のバージョンでの利用をお願いします。

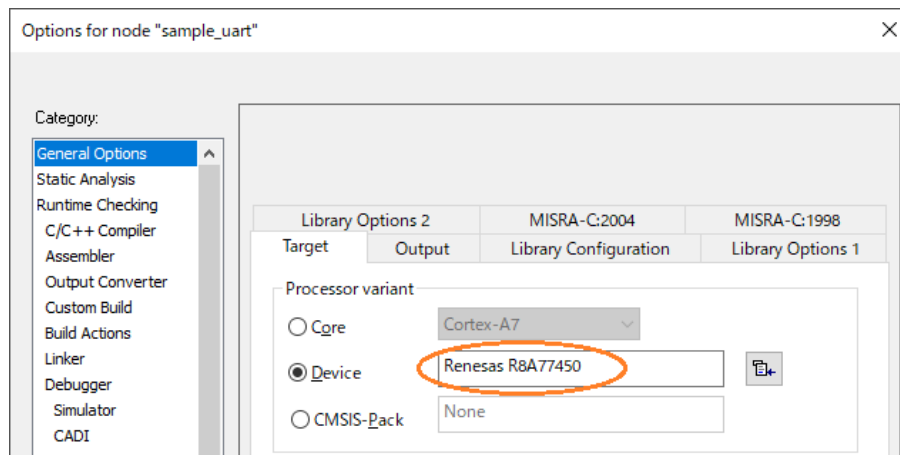


図 デバイスの指定

パッチの必要性については、2020年4月1日現在の情報となります。

開発環境の Embedded Workbench (EWARM) の、RZ/G1E への対応状況につきましては、IAR 様のホームページなどをご参照をお願いいたします。

## 2. パッケージの概要

### インストーラ

μ C3/Standard 評価版では、インストーラが用意されています。

uC3Std\_uNet3\_RZG1E\_EWARM\_100\_eva.exe を起動すると下記インストール画面が表示されるので、インストーラのメッセージに従い、評価版パッケージをインストールしてください。

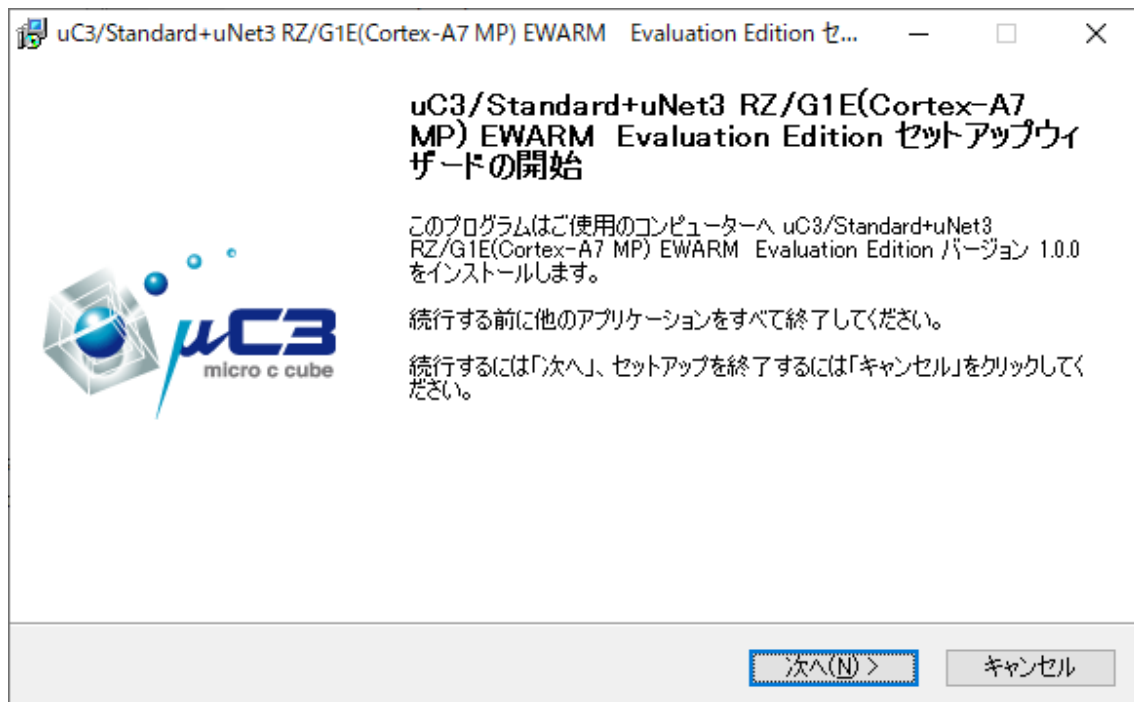


図 インストーラ画面

## フォルダ構成

インストールが完了すると、評価版のパッケージは、以下の構成となります。

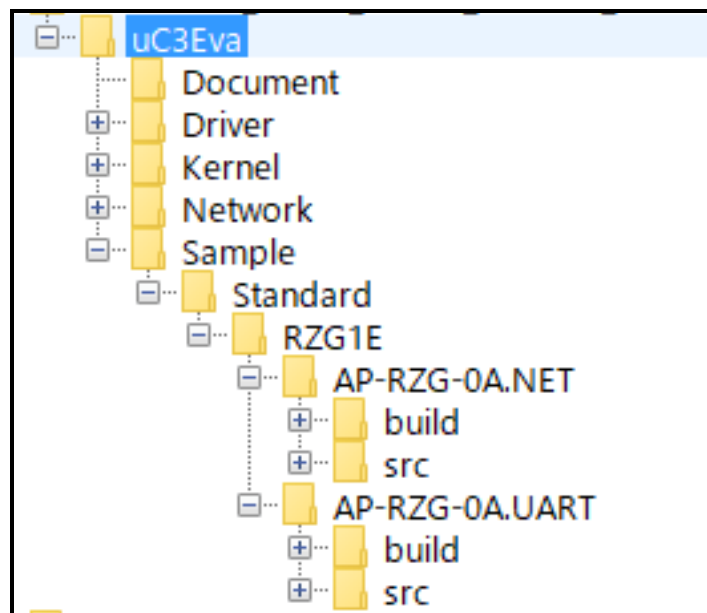


図 パッケージ構成

### サンプルプログラムの実行

μ C3/Standardでは、評価ボードをターゲットとしたサンプルを用意しています。

次のサンプルプログラムが「¥uC3Eva¥Sample¥Standard¥RZG1E」に格納されています。

評価ボード名称	サンプルの概要	対象フォルダ
株式会社アルファプロジェクト RZ/G1E-PF 搭載 CPU ボード AP-RZG-0A	uC3 (RTOS)+シリアル通信	AP-RZG-0A. UART
株式会社アルファプロジェクト RZ/G1E-PF 搭載 CPU ボード AP-RZG-0A	uC3 (RTOS)+uNet3※1	AP-RZG-0A. NET

※1. DHCP クライアント, HTTP サーバー, DNS クライアント, ping 送受信の各ネットワークアプリケーション機能のサンプルとなります。

サンプルプログラムの実行方法は、Documentフォルダの「μ C3/Standard チュートリアルガイド RZ/G1E Cortex-A7MP 編」ファイルを参考にして下さい。

なお上記、チュートリアルガイドに記載の「デュアルコア・サンプル」は、評価版では対応しておりません。また、併せて「C3/Standard+M ユーザーズガイド」も、評価版は掲載がございません。